

第1分科会「ICT 活用の先に見えてくる新しい読書と学びのカタチ

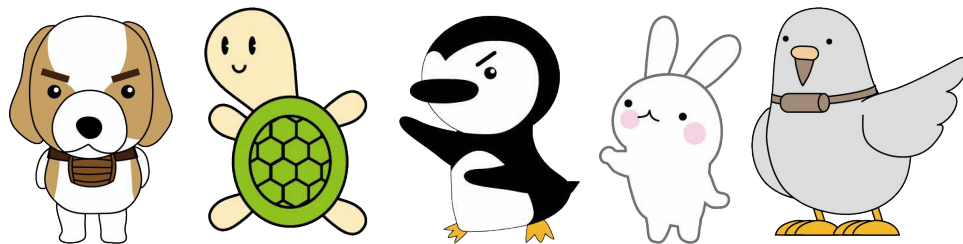
Next GIGAで目指す鳥取県の教育

鳥取県教育センター

所長 横山順一

【本日の流れ】

- 自己紹介
- GIGAスクール構想への取組
- 教育を取り巻く環境の変化
- Next GIGAでめざす教育
- つなぐつながる未来に向けて



教育センターのマスコットキャラクターたち

- 自己紹介
- GIGAスクール構想への取組
- 教育を取り巻く環境の変化
- Next GIGAでめざす教育
- つなぐつながる未来に向けて



【自己紹介】

【教育センター】

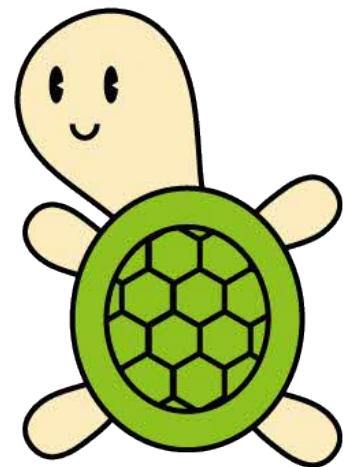
- 教育センターは、開所51年目
- いじめ・不登校総合対策センターを併設
- 昨年度「教育DX推進課」を新設、環境整備と利活用を一体的に推進
- 今春「県立夜間中学(まなびの森学園)」が敷地内に開校

【わたし】

- 教育行政事務職として約20年勤務
- 令和2年度～「GIGAスクール」の推進を担当
- 令和5年度～「教育センター」所長拝命



- 自己紹介
- **GIGAスクール構想への取組**
- 教育を取り巻く環境の変化
- Next GIGAでめざす教育
- つなぐつながる未来に向けて



そもそもGIGAスクール構想とは

1人1台端末、通信ネットワーク等の学校ICT環境を整備・活用することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実など**教育の質を向上**する構想。

【構想の背景】

- ①デジタル機器を学習に利用する時間は国際比較で最下位(OECD調査)
- ②学校のICT環境の整備状況に地域間の差が顕著(文部科学省調査)

- 「Society5.0時代に生きる子供たちにとって、**PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテム**
- 1人1台端末環境は令和の時代における学校のスタンダード」(令和元年12月 文部科学大臣メッセージ)



萩生田文部科学大臣会見



本県の「学校教育情報化推進計画」のアクションプラン

5年目(令和6年度)

・次期ステージ(新計画スタート)

活用充実期

4年目(令和5年度)

- ・教員研修継続(授業活用<発展)
- ・授業実践(日常的活用<発展)
- ・次期情報化推進計画策定に向けた検討

**特別支援学校も
1人1台環境へ**

※教育DX推進課設置
(ハード整備と利活用を一体的に推進)

活用定着期

3年目(令和4年度)

- ・教員研修継続(授業活用・発展)
- ・授業実践(日常的活用・発展)

**高校がBYADで
1人1台環境に**

活用初期

2年目(令和3年度)

- ・ICT機器充実(教員端末等)
- ・教員研修継続(授業活用中心)
- ・授業実践(日常的活用)

**GIGAスクールが
本格的にスタート**

※GIGAスクール推進課設置


体制整備

初年度(令和2年度)

- ・情報化推進計画策定
- ・共通アカウント発行
- ・端末、ネットワーク整備
- ・教員研修(操作中心)
- ・授業実践(基本)



共通のツールで12年間の連続した学びの実現を目指す

小学校			中学校	高等学校
低学年	中学年	高学年		
発達段階に応じた「情報活用能力」の育成				
知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等				
 ふるさと「とっとり」をステージとした 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間				
社会との つながり	イノベーションのための学習スキル（創造性、批判的思考、コラボレーション等）			
	キャリアのスキル（順応性、自発性、異文化理解、勤労観等）			
	情報、メディア、テクノロジーのスキル（情報活用リテラシー、ICTリテラシー等）			
下支えする スキル	映像撮影、タイピング、ネット検索、プレゼンテーション等のICT機器の操作スキル			

身に付けた
能力を使い
人生を創る

全ての児童生徒・教員にGoogleアカウントを付与し、Google Workspace for Educationを統一利用



本県のICT活用ステップアップ ～ICT活用ハンドブック～

守

令和2年度版

とっとり
ICT活用
ハンドブック

児童生徒1人1台端末の授業づくりにむけて

使う

+

破

令和4年度

とっとり
ICT活用ハンドブック
増補版 ver. 9

活かす

離

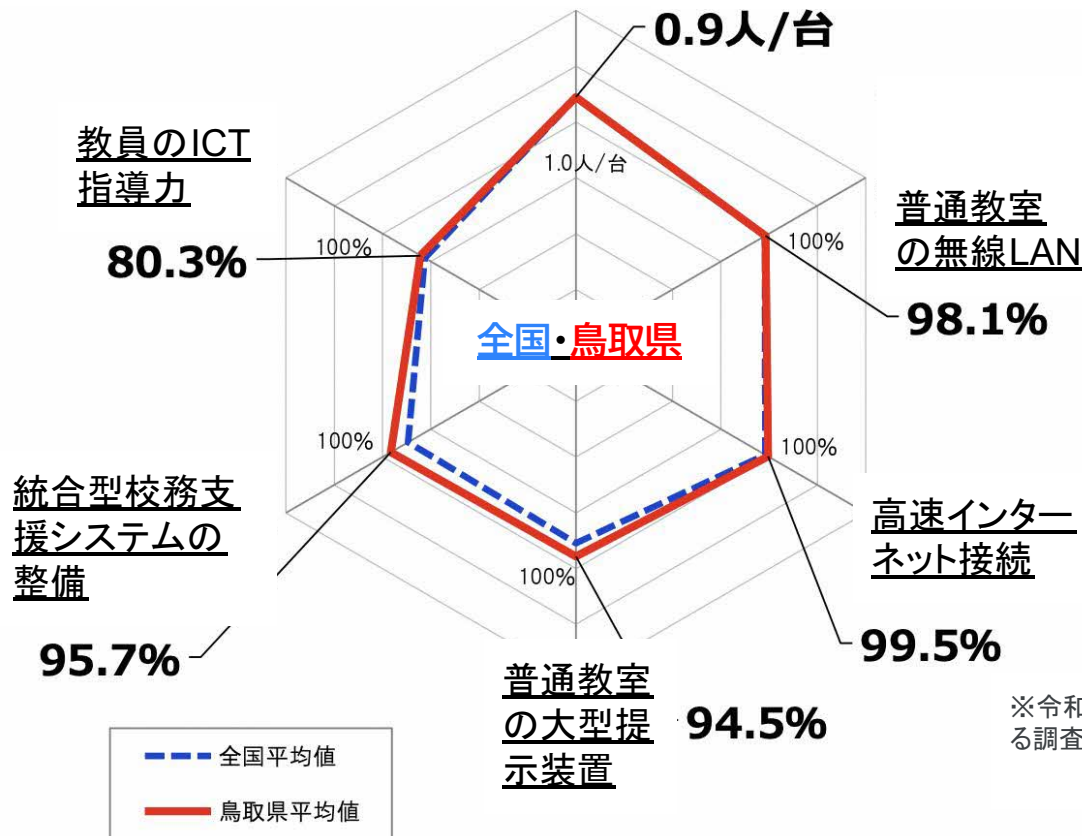
子どもが、使い方や場面を「**選ぶ**」

教員は、子どもたちに使い方や場面を「**託す**」



教育の情報化の推進

コンピュータ1台あたり
の児童生徒数



指標(全学校種)	鳥取県 平均値	全国平均値
教育用コンピュータ 1台当たりの児童生徒数	0.9人/台	0.9人/台
無線LANまたは移动通信 システム(LTE等)により インターネット接続を行う 普通教室の割合	98.1%	97.8%
インターネット接続率 (100Mbps以上)	99.5%	98.0%
普通教室の 大型提示装置整備率	94.5%	88.6%
統合型校務支援 システム整備率	95.7%	86.8%
教員のICT活用指導力	80.3%	78.1%

※令和4年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」結果(文部科学省実施)



ツールを統一することで、教員のICT活用指導力は年々向上!

教員研修においても児童・生徒と同様の学習用ツールを活用することで、自然にスキルアップを実現

令和元年度末
71.5%(全国19位)

令和2年度末
73.8%(全国11位)

令和3年度末
78.7%(全国9位)

令和4年度末
80.3%(全国11位)

今年度の教員採用候補者選考試験では、小学校～高校まですべての受験区分で ICT の実技試験を実施



図書館のICT環境も充実

全県立高校図書館にWi-Fi環境を整備(端末を持ち込んでの授業可)



生徒端末から県内全県立高校の蔵書検索が可能



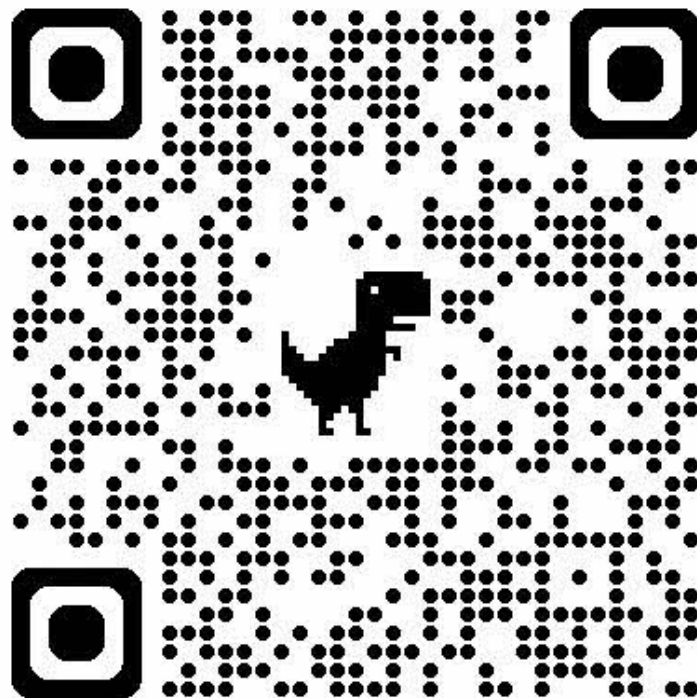
企業とコラボした司書のICT活用研修



「企業版ふるさと納税制度」を活用し、 図書館をLab化



児童生徒のICT活用スキル向上



総合的な学習の時間等の充実



＼地域発！／

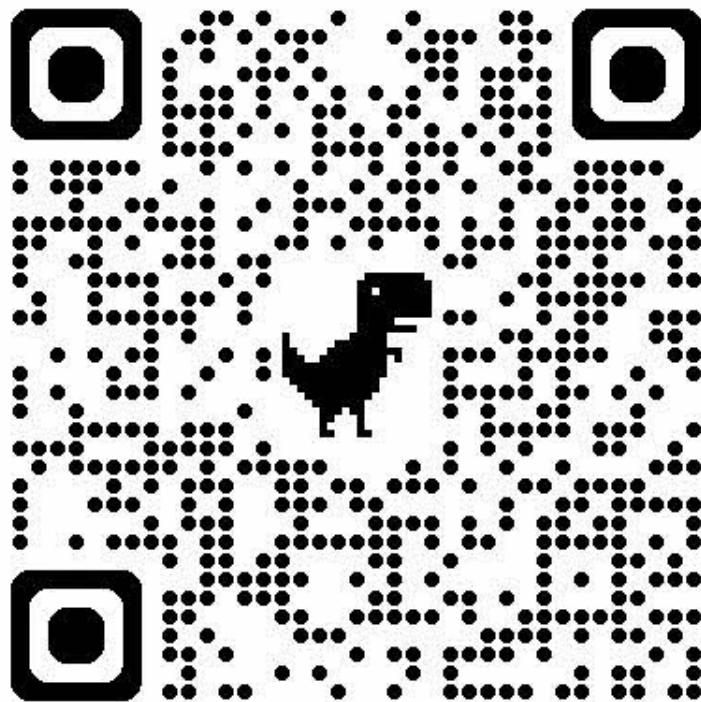
教育振興基本計画 × 実践事例レポート

第1弾！鳥取の取組
“ふるさとキャリア教育”



scene 10 持続可能で魅力あふれる地域社会にしよう

「持続可能で魅力あふれる地域社会にしよう」
米子市立後藤ヶ丘中学校



- 自己紹介
- GIGAスクール構想への取組
- 教育を取り巻く環境の変化
- Next GIGAでめざす教育
- つなぐつながる未来に向けて



多様な子どもたちの増加(全国小学校の例)

発達障害の可能性のある子供
(学習面or行動面で著しい困難を示す)

発達障害※
2.7人
(7.7%)

・ADHD(注意欠如多動性障害)

いつもそわそわして、じっと座ってられない。いろいろなものに気が散り、授業に集中できない。

・LD(学習障害、読字障害)

文字が流暢に読めなかったり、板書に時間がかかったりして、授業の進度に合わせられない。

・ASD(自閉症スペクトラム)

学習活動の見通しが持てないと不安になる。暗黙のルールがわからず、突然発言してしまう。

特異な才能のある子供

特異な才能のある子供※2
0.8人
(2.3%)

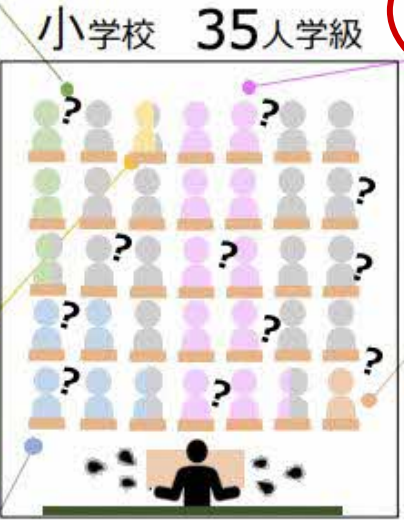
授業が暇で苦痛。価値観や感じ方の共感も得られなくて孤独。発言すると授業の雰囲気壊してしまう。

小3から中学数学、小5で数ⅡBをやっていた。
4歳のころ進化論を理解して、8歳で量子力学や相対性理論を理解していた。

不登校・不登校傾向
の子供

不登校※3
0.4人
(1.0%)

不登校傾向※4
4.1人
(11.8%)



※例示している特性が複合しているケースも多い。
※特性として示している子供についても、状況にはグラデーションがあり、様々であること。
※このほかにも、学校には、病気療養で学校に通えない子供やいわゆるヤングケアラー等、多様な背景や困難を抱える子供が存在している

家にある本が少ない子供※5
10.4人
(29.8%)

家庭の文化資本の違い

家にある本の冊数が少なく
学力の低い傾向が見られる子供
※家にある本の冊数と正答率の間には相関
家にも本が10冊又は25冊と答えた割合



家で日本語をあまり話さない子供※5
1.0人
(2.9%)

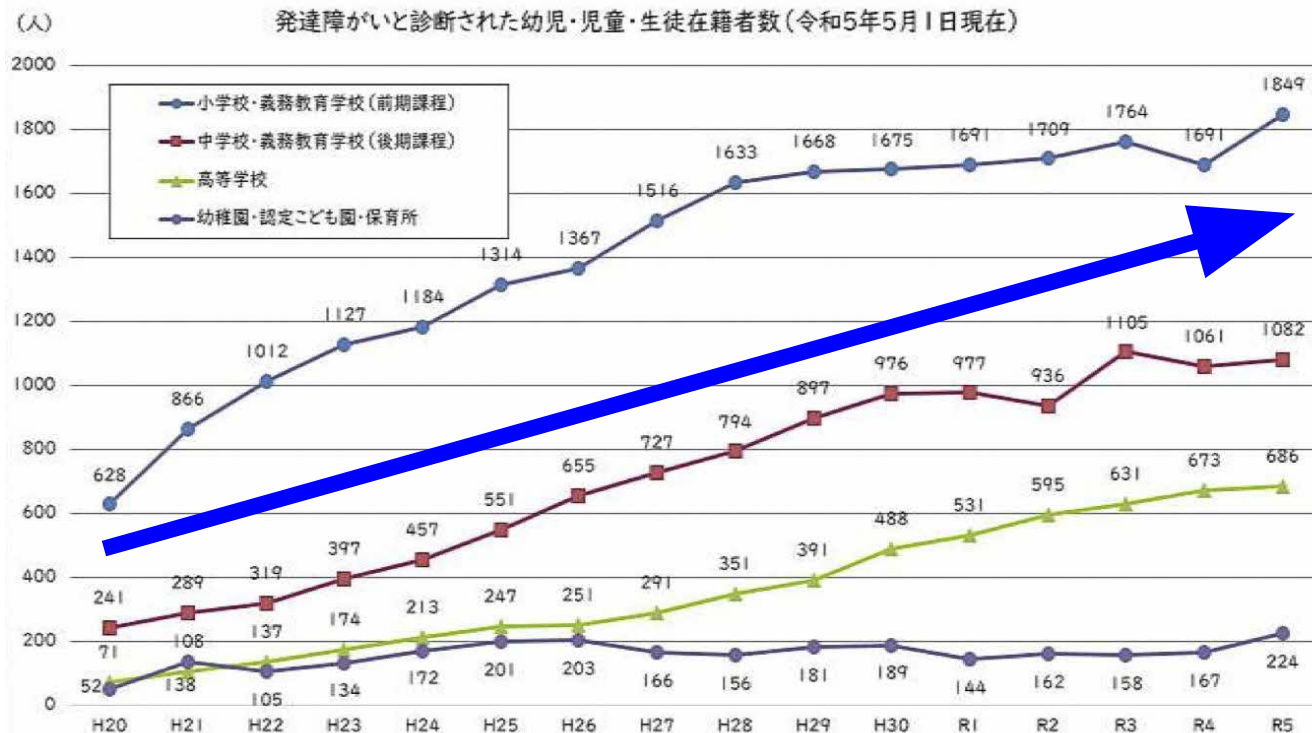
家で日本語を話す頻度の違い

家で日本語を「いつも話している」子供と「全く話さない」子供の間には、正答率に差が見られる
※家で日本語を「全く話さない」「ときどき話す」と答えた割合

子供たちの特性や関心・意欲は様々

- 話すこと・聞くこと
書くこと・読むこと
が得意な子供
- 文字情報・
音映像などの情報の扱
いが得意な子供
- 音やダンスで
表現することが
得意な子供
- 特定の分野に極めて
高い集中力を
示す子供
- 興味や関心が
拡散しやすい子供
- 特定の分野などに
関心・意欲や知的好奇心
が旺盛な子供

学びにくさを抱える子どもたち①(本県)



小学生
1,849人

中学生
1,082人

高校生
686人

幼稚園等
224人

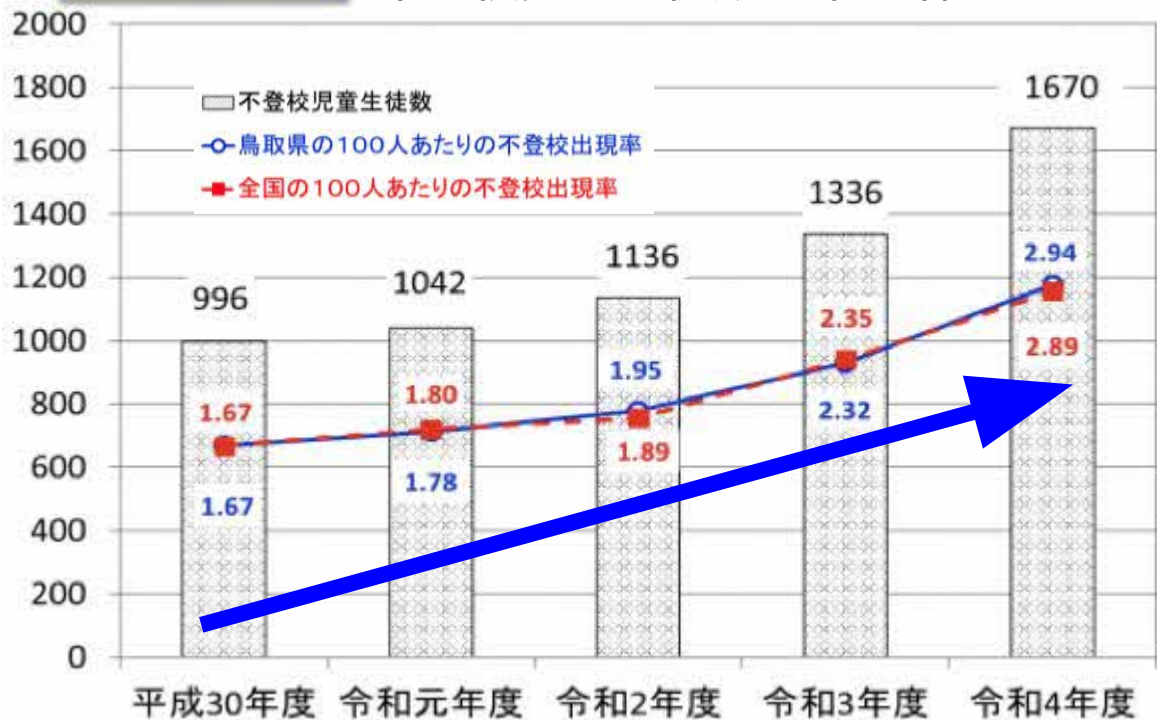
※平成21年度より広汎性発達障がいの診断を受けた幼児・児童・生徒を含む

発達障がいと診断された幼児・児童・生徒の在籍者数等調査

学びにくさを抱える子どもたち②(本県)

小・中・高合計

不登校児童生徒数は年々増加



小学校 1.74人
中学校 6.06人
高校 2.14人

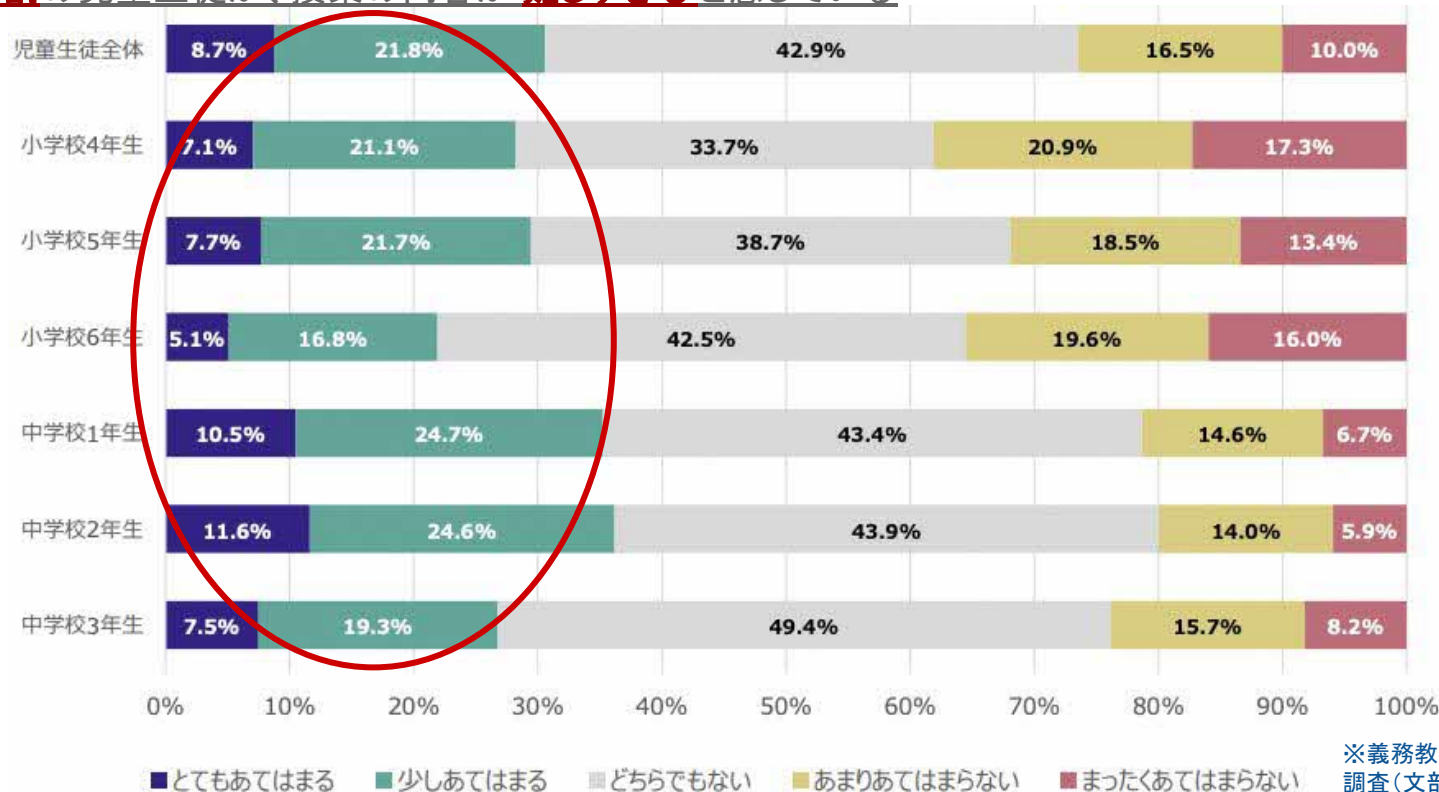


※令和4年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果(文部科学省実施)



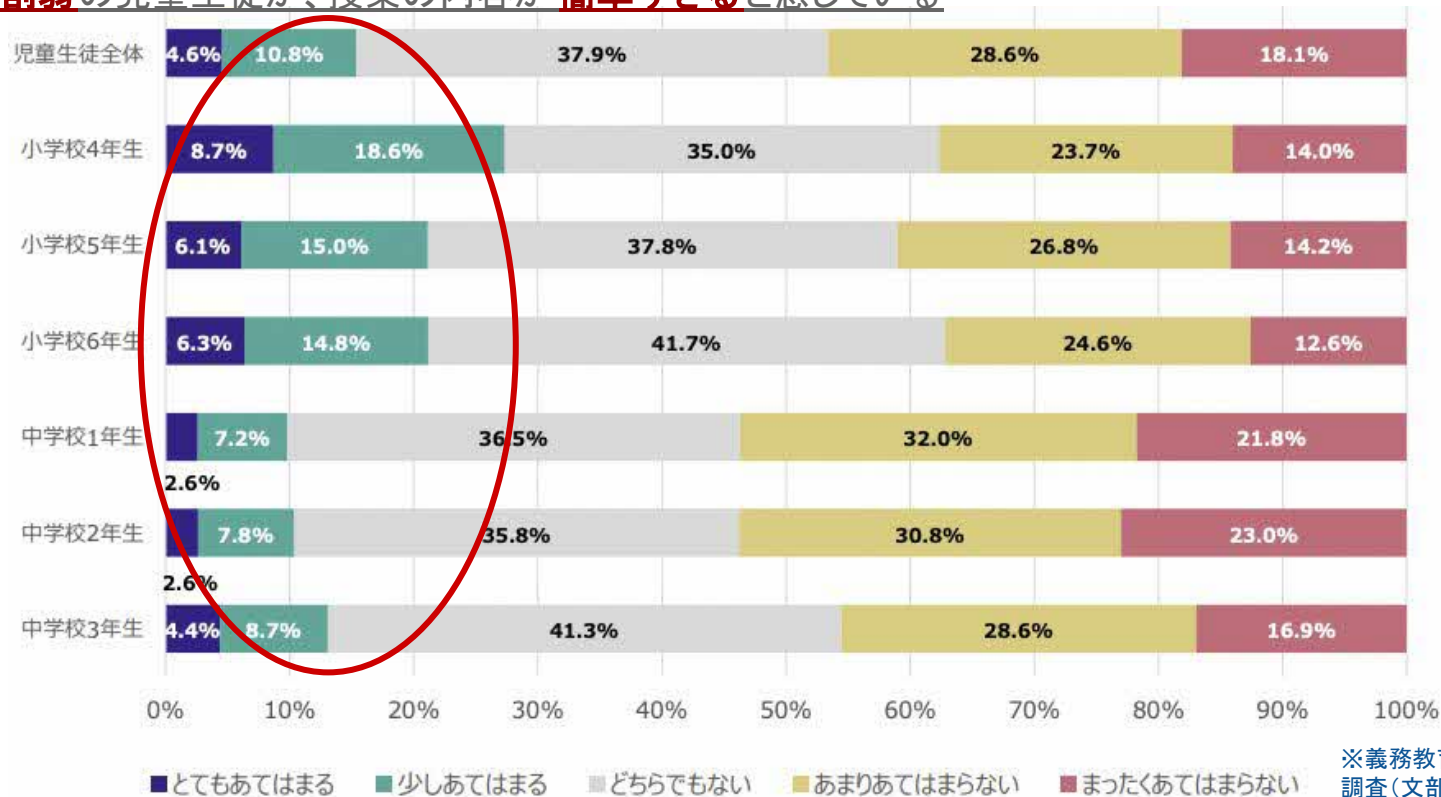
学びにくさを抱える子どもたち①(全国)

約3割の児童生徒が、授業の内容が**難しすぎる**と感じている



学びにくさを抱える子どもたち②(全国)

約2割弱の児童生徒が、授業の内容が**簡単すぎる**と感じている

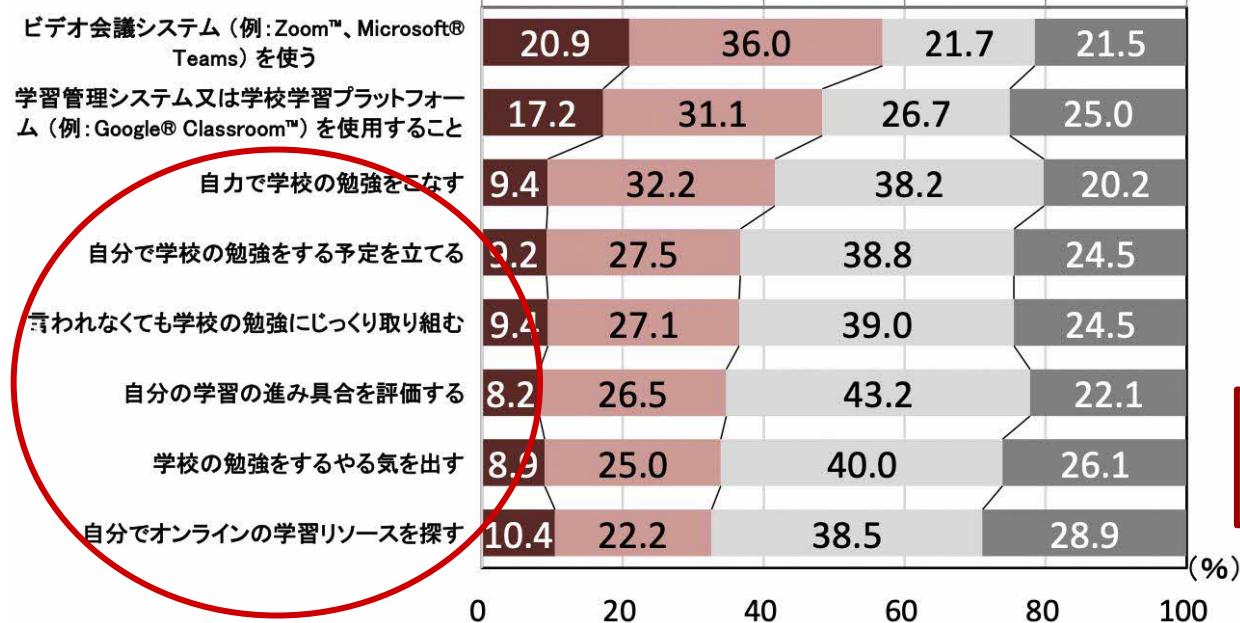


PISA2022得点の国際比較

生徒質問調査 問61 自律学習と自己効力感（日本）

「今後、あなたの学校が再び休校した場合、以下のことを行う自信はどれほどありますか。」

■ とても自信がある ■ 自信がある ■ あまり自信がない ■ 全然自信がない



「自律学習と自己効力感」指標

左の8項目の回答割合から指標値を算出。

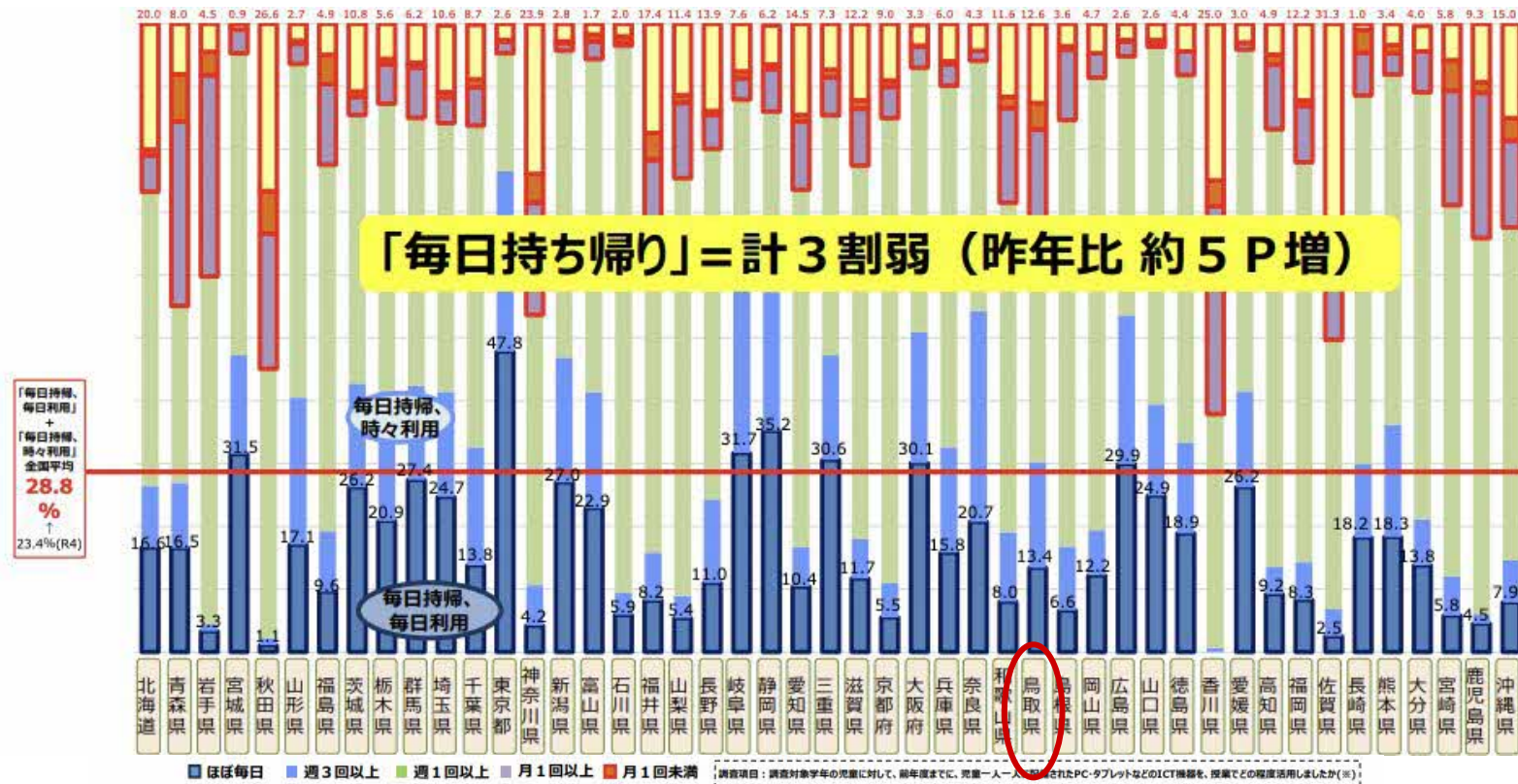
OECD平均	0.01
34位 日本	-0.68

※OECD加盟国37か国の平均値が0.0、標準偏差が1.0となるよう標準化されており、その値が大きいほど、自律学習に対する自己効力感（自信）が高いことを意味している。

日本の子どもは、自分で学ぶ自信がない？

OECD生徒の学習到達度調査
PISA2022のポイント

端末の持ち帰り状況



- 自己紹介
- GIGAスクール構想への取組
- 教育を取り巻く環境の変化
- **Next GIGAでめざす教育**
- つなぐつながる未来に向けて



「令和の日本型学校教育」の構築を目指して (R3.1中央教育審議会答申概要)

1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

社会背景

【急激に変化する時代】

- 社会の在り方が劇的に変わる「**Society5.0時代**」
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大など先行き不透明な「**予測困難な時代**」
- 社会全体の **デジタル化・オンライン化、DX加速の必要性**

子供たちに育むべき資質・能力

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

【ポイント】

- ✓ これらの資質・能力を育むためには、**新学習指導要領の着実な実施**が重要
- ✓ これからの学校教育を支える基盤的なツールとして、ICTの活用が必要不可欠

2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて

「日本型学校教育」とは？

子供たちの知・徳・体を一体で育む学校教育

- 学習機会と学力の保障
- 全人的な発達・成長の保障
- 身体的・精神的な健康の保障

【新しい動き】



新学習指導要領の着実な実施



学校における働き方改革

GIGAスクール構想

【成果】

【今日の学校教育が直面している課題】

国際的にトップクラスの学力

子供たちの多様化

情報化への対応の遅れ

学力の地域差の縮小

生徒の学習意欲の低下

少子化・人口減少の影響

規範意識・道徳心の高さ

教師の長時間労働

感染症への対応

「正義主義」や「同調圧力」への
偏りからの脱却

一人一人の子供を主語にする
学校教育の実現



「日本型学校教育」の良さを受け継ぎ、更に発展させる/
新しい時代の学校教育の実現

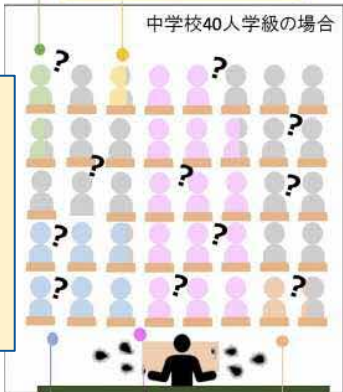


子どもの特性を重視した学びの「時間」と「空間」の多様化

子供たちが多様化する中で紙ベースの一斉授業は限界

発達障害の可能性のある子供

特異な才能のある子供



これまで

不登校
不登校傾向

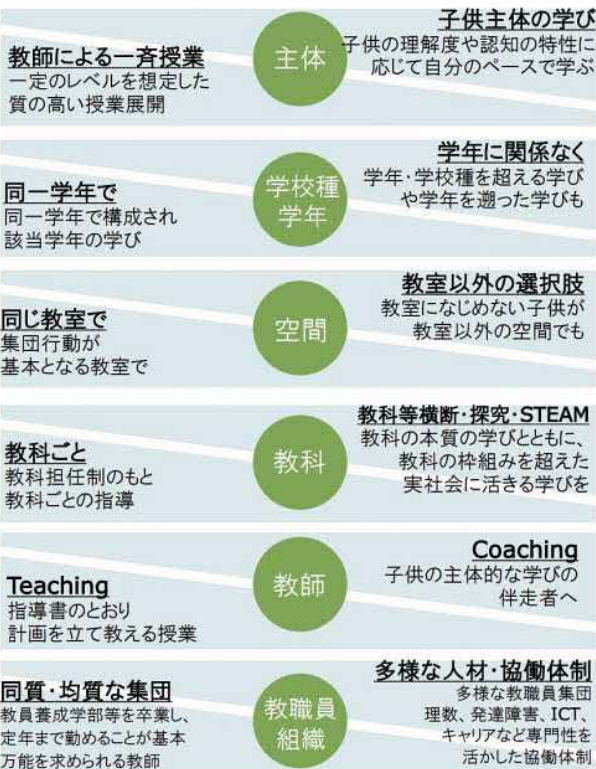
日本語を家で
あまり話さない子供

家にある本の冊数が少なく
学力の低い傾向が見られる子供
※語彙や読解力の低下は重要な教育課題

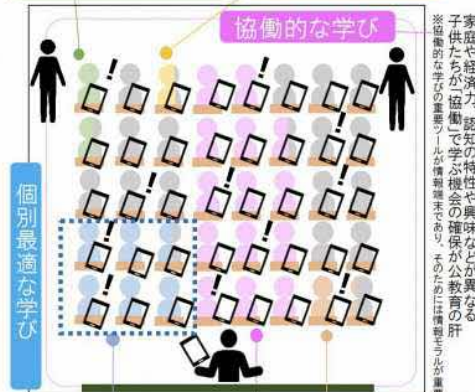
※子供の数の考え方・定義等については、スライド10の
出典と同様。

※限られたリソースの中、個別最適な学び・協働的な学
びを追求している学校や教師も沢山いるが、現リソ
ースでは一般的に限界があることを想定して図式化

2017年改訂により資質・能力重視の教育課程へと転換



多様な子供たちに対してICTも活用し
個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実



これから

不登校・不登校傾向
学校の中に通常の学級から離れて
学習ができる学びの場、教育支援セ
ンター、不登校特別校、夜間中学、
ブリースクールをはじめ、NPOや民間
等の力も活かしつつ、従来の学び方
とは別の形で学ぶことができる

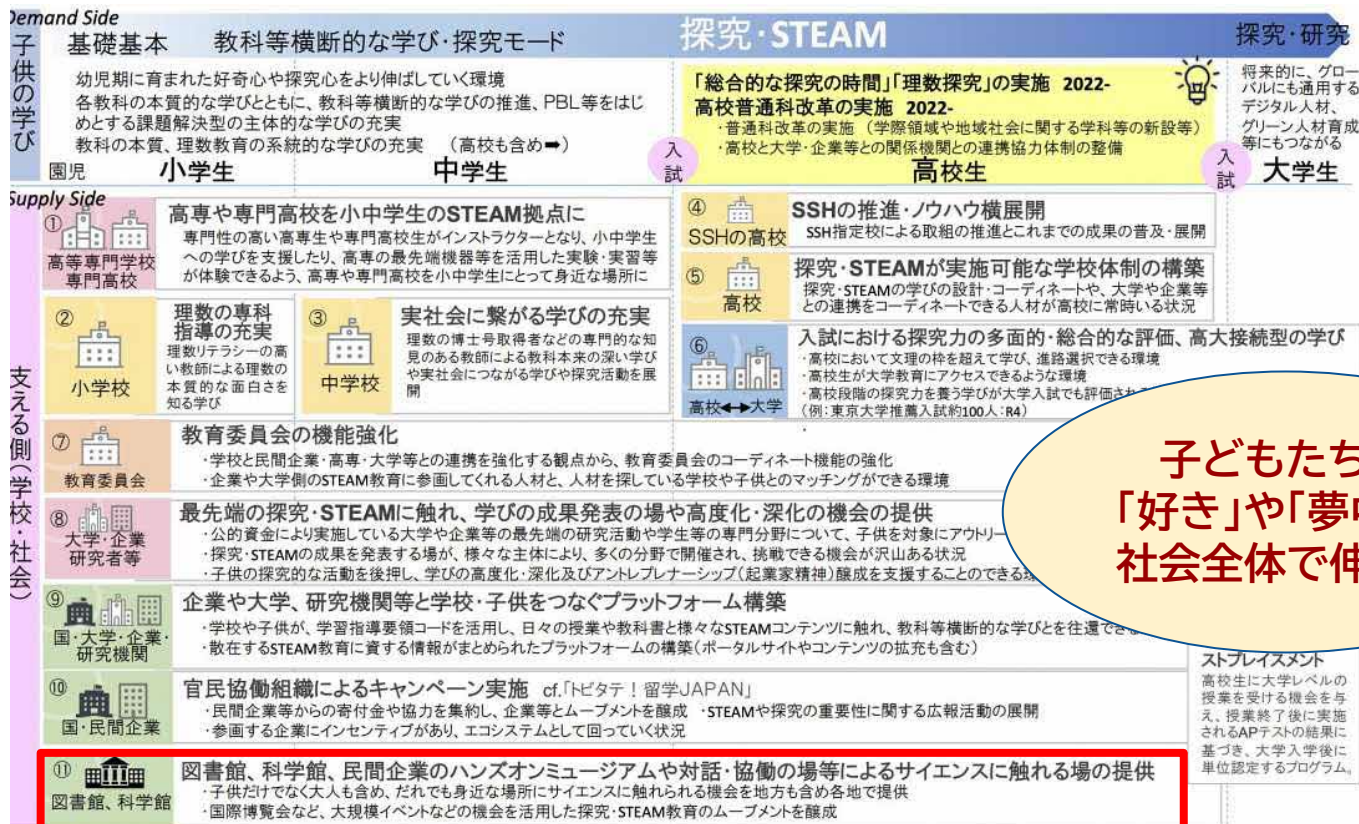
日本語を家で
あまり話さない子供
特別なカリキュラム組み
ICTも活用しながら、日本
語習得と同時に学びを
進めることができる

家にある本の冊数が少なく
学力の低い傾向が見られる子供
タブレット等の活用により自分のペースで着実に
自分の理解に応じて学びを進めることができる

Society 5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ 総合科学技術・イノベーション会議



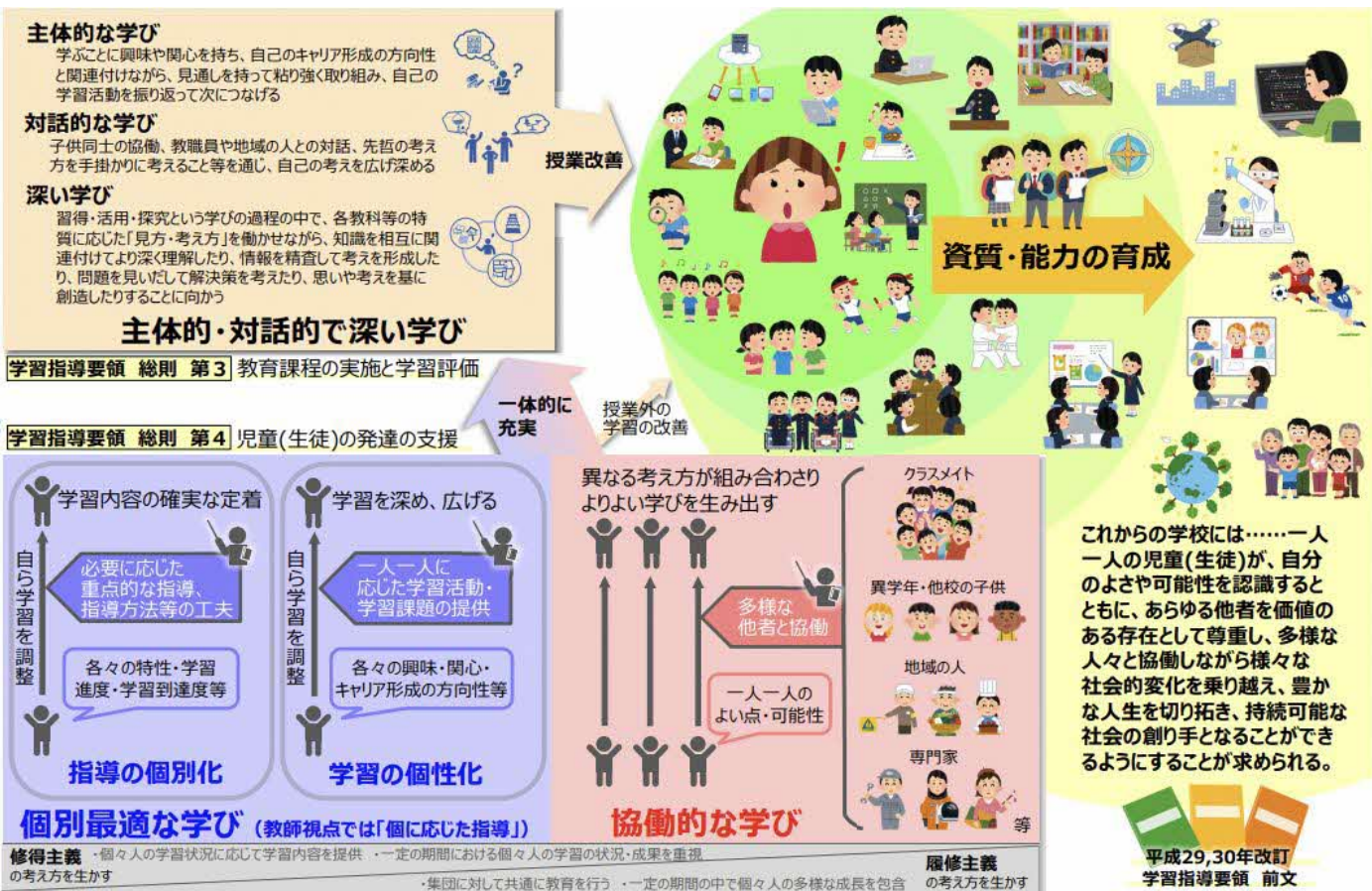
探究・STEAM教育を社会全体で支えるエコシステムの確立



子どもたちの「好き」や「夢中」を社会全体で伸ばす



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実(イメージ)



鳥取県学校教育DX推進計画(R6～R9)

【目指す人材像】情報を主体的に活用し、持続可能な社会の創り手となる資質・能力を持った人材の育成

方針1

学びを変える 情報を利用して課題を解決 未来を拓く
ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成

これまで

- ・同じ内容を同じ方法で
一斉に学ぶ
- ・教師の指示でICTを活用



Level
up

これから

自ら学び取る授業

自ら立てた目標の達成に向けて
1人1台端末を活用

実社会のホンモノの
課題を探究



情報や意見を共有・協働
しながら価値を創造・発信

ICTを使いこなし
自由な発想で社会貢献

オンライン会議等
多様な人との対話



情報に主体的に関わり
ICTのよりよい使い手に

情報活用能力

クラウド活用

PBL
STEAM教育

多様な方法で学ぶ

自分のペースで
自分に合った方法で学ぶ



学校と家庭との
連続した学び

時間・場所にとらわれず
学びの機会を確保

児童生徒の資質・能力を育成するため
人材・環境・体制の充実を図る



教師の学びの姿は子どもたちの学びの「相似形」



NITS戦略 ～新たな学びへ～
(教職員支援機構)より

DXハイスクール事業

文部科学省 令和5年度補正予算資料

成長分野の
担い手増加

事業内容

情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する学校などに対して、そのために必要な環境整備の経費を支援する

- 支援対象：公立・私立の高等学校等
- 補助上限額：1,000万円/校（1,000校程度）
- 補助率：定額補助

県内では8高校採択

※図書館設備を充実する
学校もあり

○求める具体の取組例

- ・情報Ⅱや数学Ⅱ・B、数学Ⅲ・C等の履修推進（遠隔授業の活用を含む）
- ・情報・数学等を重視した学科への転換、コースの設置（文理横断的な学びに重点的に取り組む新しい普通科への学科転換、コースの設置等）
- ・デジタルを活用した文理横断的・探究的な学びの実施
- ・デジタルものづくりなど、生徒の興味関心を高めるデジタル課外活動の促進
- ・高大接続の強化や多面的な高校入試の実施
- ・地方の小規模校において従来開設されていない理数系科目（数学Ⅲ等）の遠隔授業による実施
- ・専門高校において、大学等と連携したより高度な専門教科指導の実施、実践的な学びを評価する総合選抜の実施等の高大接続の強化

○支援対象例

ICT機器整備（ハイスペックPC、3Dプリンタ、動画・画像生成ソフト等）、遠隔授業用を含む通信機器整備、理数教育設備整備、専門高校の高度な実習設備整備、専門人材派遣等業務委託費 等

デジタル等成長分野の学部
・学科への進学者の増



- ・大学段階における理工系学部
- ・学科の増
- ・自然科学(理系)分野の学生割合5割目標
- ・デジタル人材の増

【事業スキーム】

文部科学省

補助

学校設置者



県内教員へのPBL研修(探究型研修で「観」の転換を図る)

Project Based Learning (※)

- 6月 理論編 学習者主体の授業デザインの理解
 - ・ 21世紀型スキル
 - ・ PBL
- 8月 基礎編 学習者主体の授業デザインの設計
 - ・ 単元設計演習
 - ・ ルーブリックづくり
- 1月 発展編 授業デザインの設計の交流
 - ・ 相互評価と授業デザインの修正
 - ・ 実社会とより繋がった単元設計

鳥取発の研修モデルとして発信

※Project Based Learning.

知識の暗記など、生徒が受動的な学習ではなく、自ら課題(問題)を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法のこと。課題解決型学習。

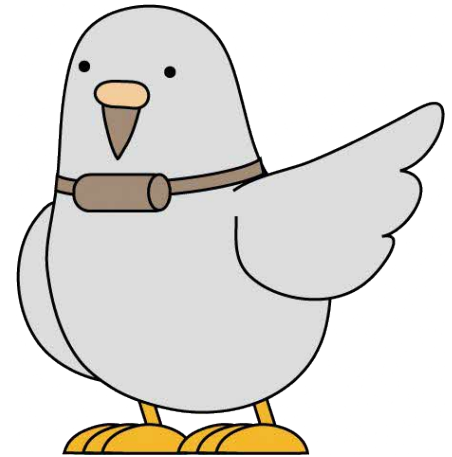
R6は小学校～高校まで22名の
教員が受講中



さらに発展的な探究学習の指導者養成のための「PBL研修IIも実施中」



- 自己紹介
- GIGAスクール構想への取組
- 教育を取り巻く環境の変化
- Next GIGAでめざす教育
- つなぐつながる未来に向けて



学習指導要領(前文)

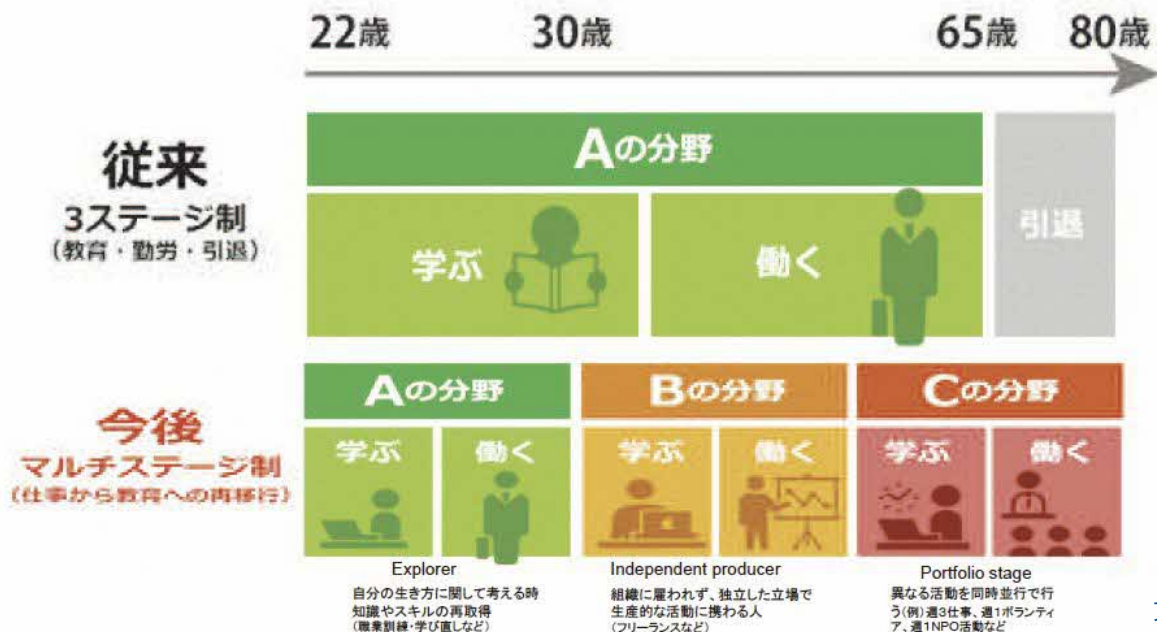
これからの学校には・・・

こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、1人1人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

今後の働き方のイメージ例

変化の激しい時代×人生100年時代

- 働く期間が長くなる
- マルチステージの時代へ



文部科学省 武藤久慶氏講演より



人生100年時代に必要とされる学び(方)

- 問題解決ができるかどうか
- 変化に柔軟に対応できるか
- 持続(継続)できるかどうか



それぞれが自分に合った「学び方」を身につける必要あり

デジタルでできる(が得意な)こと

- 情報を整理・分析する
- 複製する
- 時間や空間を超える
- 障がいの支援(アシスティブ・テクノロジー)
- 効率的な学び方・働き方改革 …

アナログでできる(が合っている)こと

- 時間や空間を共有する、感じる
- 体でぶつかり合う(スポーツ)
- 芸術に触れる、もの造り
- 温もりや存在を感じる …

これからの社会を
生きていくためには、
どちらも必要



「IT」とは機械と機械を繋ぐもの 「デジタル」は人と人を繋ぐもの

※台湾の前デジタル担当大臣(オードリー・タン氏)の言葉

- 単に機器の使い方や知識としての情報を知るだけでは生かされない、人の役に立ってこそ価値がある
- 公教育では、子どもたちがデジタル情報もアナログ情報も生かせる「多様な学び方」を身につけられるよう支援すべき

専門家の出番です!

とっとり教育ポータルサイト

🔍 とっとり教育ポータルサイト



学校におけるふるさとキャリア教育充実に役立てていただくため、鳥取県のふるさと企業やSDGsパートナー企業や鳥取県の観光・文化財情報等の情報を発信するとともに、県内公立学校、図書館、博物館等のホームページ・SNSの情報や学びに係るイベント情報を一括して発信するウェブサイトです。

トップページ



ふるさと とっとりを知ろう！



バリアフリー美術館



鳥取県内の様々な教育情報にワンストップでアクセス！



プラットフォーム（教職員用・児童生徒用）にアクセスできます！ ※鳥取Gアカウントでのログインが必要



授業支援サイト（教職員用）



とっとり学びサイト（児童生徒用）

担当

鳥取県教育センター
教育DX推進課

☎ 0857-28-2323

「子どもたち」も「先生」も ワクワクする
ような教育の実現を一緒に目指しませんか？



【参考資料等リンク】

GIGAスクール構想について(文部科学省)

https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_0001111.htm

学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_02406.html

義務教育に関する意識に係る調査概要・集計結果

https://www.mext.go.jp/content/20231227-mtx_syoto02-000033379_05.pdf

OECD生徒の学習到達度調査 2022年調査(PISA2022)のポイント

https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/2022/01_point_2.pdf

経済・財政一体改革推進委員会 経済社会の活力ワーキング・グループ
(R5.11文部科学省資料)

<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaiqi/special/reform/wg7/20231102/shiryou1.pdf>

令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申概要)

https://www.mext.go.jp/content/20210126-mxt_syoto02-000012321_1-4.pdf

Society 5.0の実現に向けた 教育・人材育成に関する政策パッケージ

https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kyouikuujinzai/saishu_print.pdf

中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会における審議のまとめ

https://www.mext.go.jp/content/20210312-mxt_syoto02-000012321_2.pdf

鳥取県学校教育DX推進計画

<https://www.pref.tottori.lg.jp/316871.htm>

NITS戦略 ～新たな学びへ～(教職員支援機構)

<https://www.nits.go.jp/about/strategy/>